

議会の役員改選について

令和2年5月11日の臨時議会において、次のとおり役員改選が行われました。

(正副議長及び監査委員は留任。()内の◎は委員長、○は副委員長)

議会運営委員会

- ◎北村 孝
- 前川 和也
- 三宅 良矢
- 勝元由佳子
- 河野 隆子

総務事業常任委員会

- ◎河野 隆子
- 小島みゆき
- 杉原 健士
- 松井 匡仁
- 前川 和也
- 勝元由佳子

福祉文教常任委員会

- ◎是枝 綾子
- 森 政雄
- 和田 善臣
- 北村 孝
- 二家本英生
- 三宅 良矢

議会広報委員会

- ◎三宅 良矢
- 二家本英生
- 小島みゆき
- 前川 和也
- 勝元由佳子

新型コロナウイルス感染症対策の要望

令和2年5月に議会から本町(町長及び教育長)あてに様々な要望を提出しました。各要望に対する町からの回答についてお知らせします。

要望1 上水道料金の減免を実施すること
回答 5月8日付けで広域水道企業団に加盟する自治体の首長が連名で、また5月12日付けで忠岡町長名にて、水道料金の減免措置や企業団としての財政支援や国や大阪府へ働きかけるよう要望したところ。下水道料金の減免は難しい。
 (※忠岡町議会議長名でも、5月14日付けで大阪府水道企業団あて要望書を提出)

要望2 外出制限等により家庭から出るゴミの量が増加していることから、一定期間内は町指定ごみ袋以外の袋を用いたゴミ出しを認めるなどの軽減策を講じること
回答 ゴミの分別や減量に対する意識後退が予想されるため、町指定ごみ袋以外での一般家庭ゴミの収集は認めにくい。また、町指定ごみ袋の無料配布も実施できない。
要望3 給食費の減免について
回答 小中学校・夏休み期間中の授業実施を予定しているため、6月～8月の給食費を町が負担する。

要望4 特定定額給付金(国民1人当たり10万円給付)について、5月中には最初の振込が実施されるよう体制を整えること
回答 迅速に支給できるようプロジェクトチームを設置するなど、この件に係る膨大な作業に対応するため全庁的に鋭意取り組んでいる。最初の振込については、5月28日に実施済み。
要望5 臨時休校等による子どもの精神的ケアに努めること。また、学校再開に当たり、感染防止環境を整備すると同時に、学習の遅れが生じないようカリキュラム等に配慮すること
回答 子どもの精神的ケアについては、担任やスクーリングカウンセラーなどを通してきめ細やかな対応を心がけている。
 また、学校園内での感染症対策については、現状の物理的・人的条件の中で最善を尽くし、こまめな手洗いやマスク着用の徹底、消毒・換気の実施など、少しでも感染拡大を抑制していく。
 カリキュラム等についても、学習の遅れが生じないよう配慮していく。

要望6 重症化リスクの高い高齢者・障がい者・未熟児などに対する感染予防の優先的取組みや、介護施設等での対策を推進されたい
回答 緊急事態宣言が発出される以前から、妊婦をはじめ高齢者・介護施設などに対し、マスクや消毒関連用品の配付を実施してきた。引き続き、感染拡大予防に務めてまいりたいと考えている。
要望7 議会から上げた政策提言の財源として、財政調整基金及び特定目的基金を活用すること
回答 新型コロナウイルス対策の予算は交付金の上限額を超えており、超過分については基金を活用してまいりたい。



議会だより 忠岡

第9号
令和2年8月1日

◆発行/忠岡町議会 編集/議会広報委員会 大阪府泉北郡忠岡町忠岡東1丁目34番1号 ☎0725-22-1122(代)



練習再開しました。

次回の議会日程 9月9日(水) 一般質問
 9月28日(月)～30日(水) 決算審査特別委員会
 いずれも10時より(予定)

もくじ

- 一般質問(勝元由佳子・前川和也) 2ページ
- 一般質問(松井匡仁・三宅良矢) 3ページ
- 一般質問(小島みゆき・和田善臣) 4ページ
- 一般質問(是枝綾子・河野隆子) 5ページ
- 一般質問(二家本英生・北村 孝) 6ページ
- 令和2年6月議会審議結果一覧 7ページ
- 議会の役員改選について 8ページ
- コロナ対策 議会の要望と回答 8ページ



勝元 由佳子 議員

問 新型コロナのどさくさに紛れた癒着問題

問 4月の緊急事態宣言直後、役場庁舎内の消毒等について庁舎管理担当課(総務課)へ確認したところ、新型コロナに対する消毒効果が不明な洗剤を「いつもの受注業者」からタダでもらって使用しているとのことであった。この業者は、役場庁舎完成以降ずっと、庁舎の管理委託業務等を常に落札・受注し続けている。総務課は、庁舎管理担当課であると同時に

本町の入札・契約主管課でもある。今回の物品供与は、業者からの賄賂(わいろ)ではないのか? なお、その後は「庁舎管理委託契約の範囲内だった。」などと言い訳をしている。ごまかさずに説明されたい。

答 庁舎管理委託契約の範囲内であり、何ら問題はない。

問 新型コロナ下での複合災害対策について

問 新型コロナの発生に伴い、大阪府からも「避難所運営マニュアル作成指針」に上乗せした「新型コロナウイルス感染症対応編」が府内市町村向けに策定された。今後は感染症対策を前提とした災害対策へ見直しが必要となるが、マスクや消毒用品等の備蓄や避難所内での間仕切り等、感染予防に必要な物資の追加購入をはじめ、万一、被災した際の住民救済や復旧等に必要財源は大丈夫なのか?

答 国へ交付金申請したところである。

問 町長の責任を問う

問 本町のまちづくりは個人の地主頼みで、駅前地域の整備・開発が放置されているだけでなく、今議会では西区の児童公園が突然なくなるという議案まで出ている。こうしたまちづくりでの無策・無計画も、先の癒着問題の質問にあるような腐敗した組織風土も、結局は、職員教育や役場組織の立て直し・改革をして来なかった町長の責任である。

答 勝元議員はえげつないことを言うと、我々は解釈している。(※以下、質問・議示と全く関係のない発言で質問時間終了。)



前川 和也 議員

問 学校休業中のことについて

問 保護者に向けて業務連絡だけではなく、先生から児童・生徒に向けたお手紙のようなものがあれば良かった。学校の再開後のことも大事だが、休校中においても児童・生徒との心の触れ合いについては取り組むべきである。

答 今後は休校中においてもそのようなことに配慮する。



問 役場の勤務体制について

問 感染拡大防止ということで、勤務体制がA班B班の2班に分けてシフトが組まれた。若手職員さんの大量退職がここ数年続き、多様な働き方を選択できる「フレックスタイム制」の導入が必要であると考え、今回はそれに近い勤務体制となった。この経験をもとに引き続き検討をして頂きたい。

答 窓口業務の有無で問題点が変わってくる。今回の検証も含め、引き続き調査研究はしていく。

問 特別職(町長・教育長)の身を切る改革について

問 緊急事態に対処する心構えとして、議会と歩調を合わせ、報酬を削減する「身を切る改革」をしてはどうか。

答 普段から削減をしているので、今回特別に削減ということはしない。

問 広報について

問 近隣市のHPと比較しても、町の感染症対策のHPはとても見にくい。情報を知りたい方の視点に立ったデザインへと改善をすべきである。

答 どのような工夫が出来るか検討する。

令和2年6月議会審議結果一覧

全ての議員が賛成した件	
町議会議員の報酬及び費用弁償等条例の一部改正 (7月~令和3年3月まで5%の報酬削減)	
専決処分の承認 (保育士の負担軽減費用)	
専決処分の承認 (町税条例の一部改正、たばこ税の課税免除関連)	
専決処分の承認 (休業要請・経営継続支援負担金関連)	
専決処分の承認 (特別定額給付金給付事業関連)	
固定資産評価審査委員会委員の選任 (田中章氏)	
農業委員会委員の選任 (新任4名、再任6名 計10名)	
一般職職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正 (新型コロナウイルス対応等の作業手当の特例)	
町税条例の一部改正 (新型コロナウイルス感染症関連)	
国民健康保険条例の一部改正 (新型コロナウイルス感染症による傷病手当金支給等)	
国民健康保険料条例の一部改正 (新型コロナウイルス感染症発生に伴う減免措置)	
後期高齢者医療に関する条例の一部改正 (新型コロナウイルス感染症による傷病手当金支給等)	
介護保険条例の一部改正 (新型コロナウイルス感染症発生に伴う減免措置等)	
大阪広域水道企業団の共同処理する事務の変更及びこれに伴う規約の変更に関する協議 (新たに3市1町の水道事業の経営に関する事務を追加、規約の変更について)	
令和2年度国民健康保険事業勘定特別会計補正予算 (傷病手当金給付、保健師等報酬追加等)	
令和2年度介護保険特別会計補正予算 (低所得者保険料軽減繰入金等)	

賛成と反対が分かれた件	結果	呈祥会			共産党			無所属なだ会			公明党		改革忠岡
		杉原	和田	前川	二家本	是枝	河野	松井	三宅	森	北村	小島	勝元
令和2年度一般会計補正予算 (西区公園遊具等撤去費用、こども園整備による樹木伐採、ごみ処理場の差額等)	可決	議	○	○	×	×	×	○	×	○	○	○	×
賛成意見 公園を長きにわたり土地を貸して頂いた方へ、感謝の意を込めて、意思を尊重したい。 反対意見 公園返却の住民への説明がない。代替地も不十分。資金を使って公園の存続を。													
意見書 (新型コロナウイルス感染症対策のため教育条件の抜本的な強化を求める意見書)	否決	議	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×
賛成意見 教育現場でも3密を避ける必要があり、感染予防対策が必要ではないか。 反対意見 少人数学級推進は賛成だが、20人学級というのは性急であり、教員確保が困難。													

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席 議…議長のため賛否なし



二家本 英生 議員

問 西区ふれあい公園について

問 借地であった公園が返還の為、なくなる。住民への事前の説明会は行われていない。説明会を開くべきではないか。

答 事前に説明会は行わない。

問 廃園になった場合、代替地の計画は。

答 東区ゲートボール場の一部の整備を考えているが、基本構想の策定等の為、最短でも令和5年度になる。地元住民や関係団体との意見を伺う。また、東洋紡跡地のいこいの広場については数基の遊具設置を検討する。

問 子どもの居場所づくりや地域の交流など、地域における公園の重要性は考えているか。

答 地域に身近な公園として親しまれ、地域コミュニティの基本となる重要な公園であることは認識している。しかし、購入に向け検討を重ねたが、町の財政状況も非常に厳しいので、返却を決定した。



問 特別定額給付金について

問 申請時に本人確認書類や銀行口座の写しが必要であったが、添付忘れなど不備が見受けられた。外国籍世帯は、より困難が予想されるが、サポート状況は。

答 各言語に対応した国のホームページで確認してもらう。必要に応じて、写しを給付金窓口配置する。

問 長期入院や施設の入所者など、申請書が対象者に届いていない方へのサポートは。

答 現在、町内に住所があり他市に暮らしている方には、柔軟に対応している。今後は、高齢者施設への案内や自治会の回覧板を利用し、一人暮らしの高齢者等に対し、周知を図る。未給付の方は、確認し啓発を行う。



北村 孝 議員

問 防災について

問 (株)エフエム泉大津と「災害時における放送要請に関する協定」を締結されたところである。災害時を含め緊急情報などを伝達するのに有効である防災ラジオを導入されよ。

本町には現在、8基の防災行政無線の屋外スピーカーが設置されているが、屋外では聞き取れる緊急情報の放送も、室内に居ると十分に聞こえないことがある。大雨時などでは、音声がかき消され、放送が伝わりにくい。防災ラジオは電源が切れていてもラジオが自動的に起動し、災害時などの緊急放送が大音量で発信され、割り込み放送も行われる仕組みになっている。災害時、緊急時を含めコロナ伝達にも有効で住民の命を守る行動に繋がる事からも早急に取り組み導入すべき。

答 災害発生時における情報伝達手段の充実は非常に重要であると認識している。今後、エフエム泉大津側との対応や協議など必要になると考えられますので、引き続き、調査・研究を進めていく。

問 認知症対策について。

問 損害責任から家族を救う認知症事故に備え、町が保険加入されよ。

認知症の高齢者らが絡んだ事故で損害賠償を当人や、その家族が負う事態に備え、他人への損傷で損害賠償を負ったりした場合などを対象に補償される保険事業を始めては。賠償責任から家族を救うから実施を。

答 実際行っている市町村の内容を調査し、本町に置き換えると事業費、事務量はどれほどか、調査研究して参りたいと考えています。



松井 匡仁 議員

問 新型コロナウイルス感染症対策における大阪広域水道企業団の対応について

問 大阪広域水道企業団には、何度も水道料金の減免要望を行っているが、水道料金の減免は行われていない。このような広域水道企業団の対応についてどのように思われるか？

答 5月27日、広域水道企業団から用水供給料金の軽減として忠岡町に720万円の補助を行うとの回答があった。

問 忠岡町は平成31年4月に広域水道企業団と統合した際、現金預金3億円を移管しているが、補助は720万円。これでは広域統合のメリットが全くないと思うが、どう思われるか？

答 広域をすることは間違いでなかった。十分な補償、十分な補助、目に見えるようなコロナ対策ということでは過大な期待を持たれると難儀だが、他市と同じ位の事はしたい。

問 今後の忠岡町広域行政の在り方について

問 町長は今年の施政方針演説で広域行政の更なる推進と話されていましたが、私は今回の広域水道企業団の対応を見て、広域ありきで進むのはいかがなものか？ これからの様々な広域連携が本当に忠岡町民のためになるのか、『進むべき所は進み、考えるべき所は考えていきたい』と思うが？

答 絶えず検討していかないとはいえませんが、住民の皆さん方には以前の習慣があるからあれですけど、間もなく慣れてくるとお思いますので辛抱していただきたいとお思います。

問 各種学校行事、修学旅行の予定について

問 今後の各種学校行事、修学旅行の予定について、特に修学旅行は、一生の思い出になるのでできる限りの対応をしていただきたい。

答 授業時数確保のため様々な学校行事の見直しが全国各地で検討されている。しかし特別活動については、集団活動を通して人間形成を図るための有用な教育活動である。修学旅行については、最終学年の生徒にとっての極めて価値のある体験活動であるので学校現場の意見を聞きつつ、実施に向け指導・助言してまいります。



三宅 良矢 議員

問 社会福祉協議会の個人向け小口融資(20万円)返済対応は？

問 無利子・無担保・無保証の状況で貸し付けているという事は、返済困難に陥る可能性の高い方が割合として多くなる。今後の返済請求に対する配慮は？

答 状況により返済免除もできるので相談体制はしっかり整えていく。

問 小中学校でのタブレットのネット通信環境の確保は？

問 第1次コロナ対策補正予算を活用し、児童生徒ひとり1台ずつタブレットが配備される。今後も自粛要請によって休校措置された場合に備え、在宅学習にて途切れさせずにカリキュラムを進める事が、対策目的の一環であると説明された。在宅学習を進めるのであれば、自宅においてネット環境に接続できる家庭は、おおよそ6割と言われている。残り4割のネット環境にない家庭への対応と、そのための予算取りについてはどうするか。

答 町内ではかなりの家庭がネットにつながる環境にある。そうでない家庭には早期に対応を考えていく。



問 国の教育ICT環境整備502億円予算を活用できないか

問 光ファイバー整備推進の範囲を、町内の子ども園・幼稚園・保育所にも拡大すべき。休園中や自粛期間中の乳幼児に対する生活確認・コミュニケーション、そして早期教育に有効なアプリ操作や指導などに展開を図っていくべき。

答 基盤となる光ファイバーなどの整備は、国が全て助成してくれるのであれば導入する。



小島 みゆき 議員

問 コロナウイルス感染症防止について

問 学校も再開され、コロナウイルス感染予防対策と今後の対応は？

答 教室の換気や消毒を行い、マスクの着用、手洗いを徹底。体温測定を含めた健康観察を毎朝、健康観察カードに記載し担任が回収している。未提出者には、非接触型体温計で検温している。

問 授業の遅れと共に子どもたちの心のケアが心配です。子どもたちはいかがでしょうか？

答 教職員が様子を見ている。3校とも不安等で欠席している児童生徒はいない。

問 先生方も大変と思います。第2次補正予算にも入っているスクールカウンセラーやソーシャルワーカー、スクールサポートスタッフの配置等はお考えでしょうか？

答 現状のまま。

問 感染予防対策をして避難所、避難対策のあり方は？また、対策をしての収容人数は？

答 避難所は7カ所、今までは、計6937人。(3.3㎡で2人として計算したもの)対策をしては、半分の人数になる。

問 大阪府では、自転車保険加入がH28年4月1日施行。コロナ感染症対策で自転車で通学や通勤をされる方も増えています。事故を起こすと多額の補償金が発生します。

コロナ対策として、町が保険料の負担をする、団体保険など検討してはいかがか。

答 すでに加入されてる保険にあと付けや少額で加入できる。自転車利用が増えた機会に自転車用ヘルメットの着用と合わせて啓発する。



和田 善臣 議員

問 新型コロナ禍と自然災害などの複合災害の対処について

問 新型コロナ禍の中で避難指示レベルの自然災害等が発生した場合、複合災害となる。避難所がクラスターとならないよう「マスク、消毒液、飲料水等」の備蓄は十分有るかお聞きする。

答 感染防止のためマスクをはじめ備蓄に取り組んでいる。今後も在庫については十分管理していく。

問 主な避難所では発熱者が出た場合など、同じ施設内で別室に隔離できる部屋、或いは横になれるような備品が有るかお聞きする。加えて避難所で働く予定の職員がコロナ対処法を(研習会等で)予め習得できるような措置をお願いしたいが如何か？

答 体調不良を訴える方は可能な限り隔離した部屋へ非難していただく。簡易ベッド等も準備はしている。また職員の研修については今後考えてまいりたい。

問 秋口から冬にかけて第二波が予想される。経済界も疲弊しており、第一波のような「要請」を柱とするだけでは乗り越えるのは困難である。国に対し市町村長会から今迄にない経済支援、消費税(時限立法でも良い)等にも踏み込む位の強い要望をされたい。

答 国に対し要望してまいりたい。



是枝 綾子 議員

問 中小業者支援金の支給を

問 国や府の支援金は、コロナの影響で売り上げが前年同月比50%以上減少したところが対象である。しかし、減少幅が50%未満でも経営は大変である。他市のように30~50%減少のところにも町独自で支援金を支給する考えはないか？

答 今後行われる国や府の制度等を十分周知してまいりたい。

問 就学援助制度の対象者の拡大を

問 本町の就学援助制度の支給は、前年度所得で判断される。コロナの影響で収入が減少した世帯も対象にされること。

答 国からの通知もあり、制度の導入を図ってまいりたい。



河野 隆子 議員

問 子どもたちにインフルエンザ予防接種の助成を

問 高齢者などには町より助成がある。コロナ第2波にそなえ、町独自で中学校卒業までの児童にも助成を。

答 現在は任意接種となっており、財政状況が悪い中、現段階では難しい。

問 高齢者に補聴器購入の補助を

問 難聴のために、社会参加がしにくい、認知がすすむと言われている。補聴器購入は負担が大きい。町から補助を検討されよ。

答 障がい者手帳所持者には減免や免除(補助)があるので、手帳取得を推進します。取得できない方については、財政状況が悪いので、町独自の補助は難しい。

問 水道料金の基本料金の免除を

問 コロナの影響で、水道も多く使うし、収入も減少しているご家庭も多い。他市町のように水道料金の基本料金の免除をおこなわれること。

答 府の水道企業団が水道料金を引き下げることに加え、町独自にも財源を上乗せして水道料金の基本料金を減免してまいりたい。

問 特定の価値観を押しつける教科書は採択されないこと

問 来年度から中学校で使われる教科書が採択される。子どもたちにより良い教科書を手渡すために教員の意見も聞かれること。又、教育委員会の会議の傍聴は希望者全員を入れられること。

答 調査研究を進める。傍聴人数は今年度、コロナウイルス感染症対策のため、これまで以上に人数を制限せざるを得ない。

